



2013年3月期 決算説明会

2013年5月16日

	(頁)
I. 2013年3月期業績	
・業績概要	(3)～(4)
・業績比較	(5)
・セグメント別売上高・営業利益実績	(6)～(9)
・主要指標比較	(10)
・経常利益差異分析	(11)
・特別損益内訳	(12)
・貸借対照表	(13)
・キャッシュ・フロー	(14)
II. 2014年3月期業績予想	
・業績予想概要	(16)
・セグメント別予想売上高・営業利益	(17)～(20)
・予想主要指標比較	(21)
・予想キャッシュ・フロー	(22)
III. トピックス(2012年4月～2013年4月)	(24)～(25)
IV. 連結子会社の概要	(27)～(28)

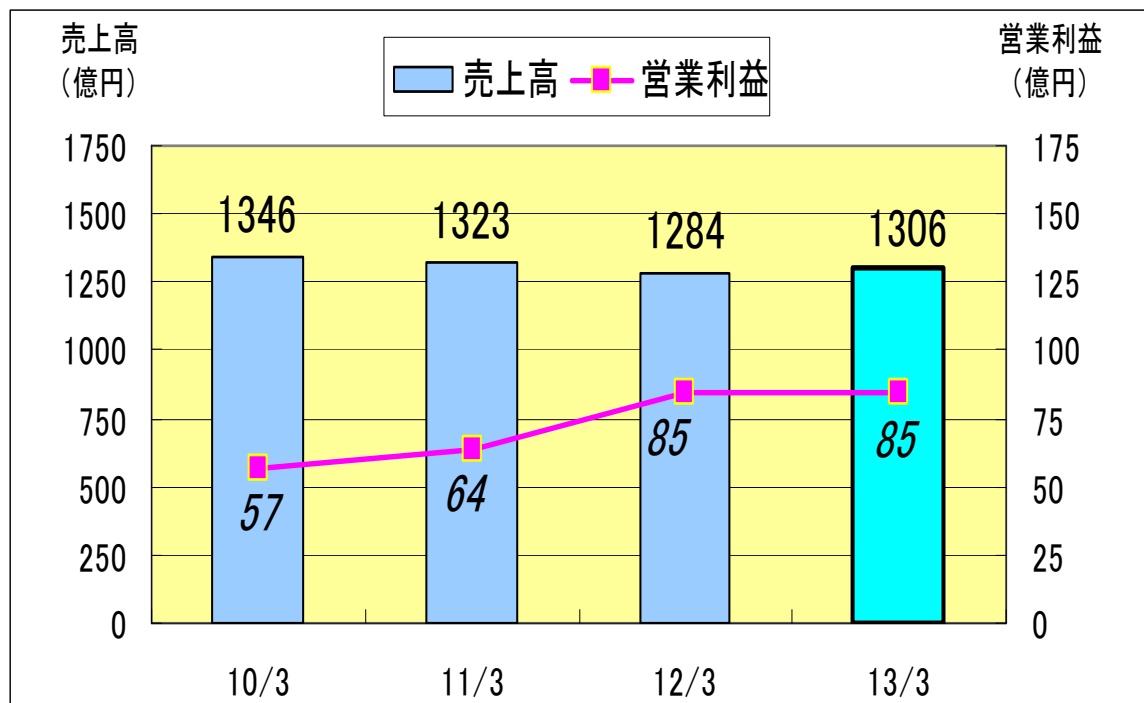
I . 2013年3月期業績

2013年3月期業績 概要 (1)

株式会社クレハ

機能製品の需要低迷による減収を化学製品および樹脂製品の増収でカバーし、
売上高は前期比微増、営業利益は前期並み、純利益は特別損失減少により大幅増。

- 売上高 1305.5 億円 (前期比)
(+21.9 億円、+1.7%)
- 営業利益 84.6 億円
(△ 0.1 億円、△ 0.2%)
- 経常利益 65.7 億円
(△ 13.0 億円、△ 16.5%)
- 純利益 32.1 億円
(+ 17.5 億円、+120.0%)



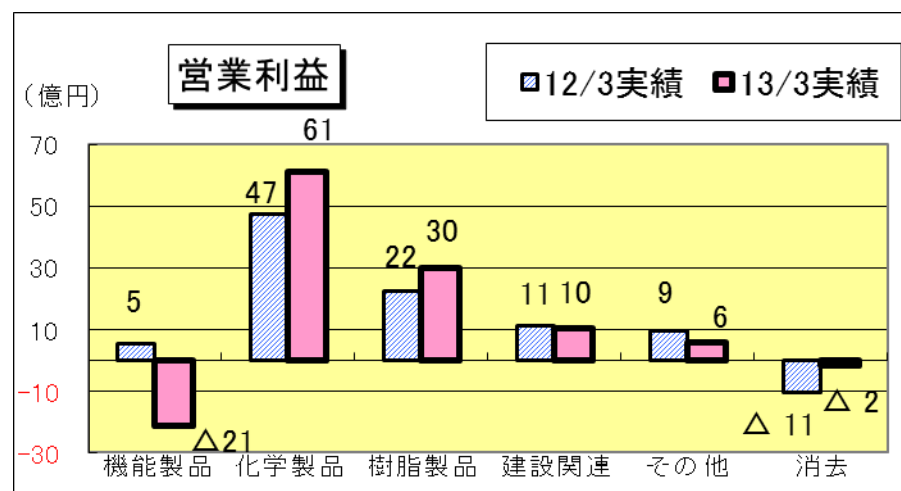
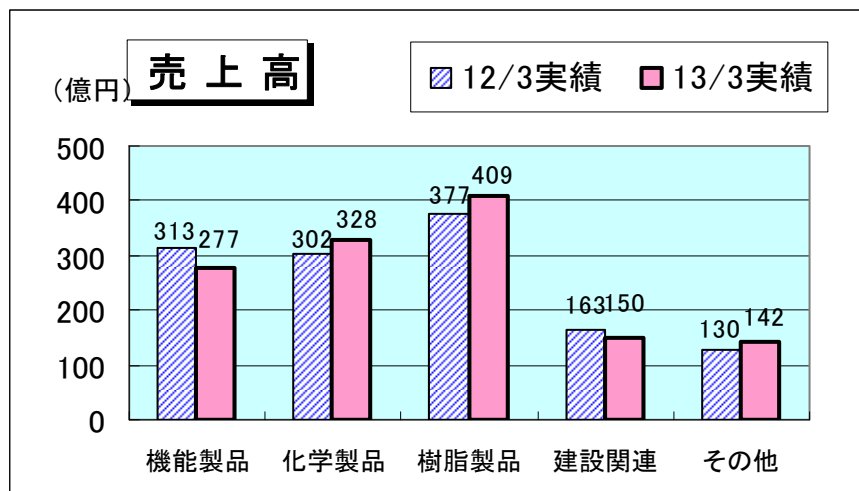
KUREHA

2013年3月期業績 概要 (2)

株式会社クレハ

セグメント別実績 (前期比)

- 【機能製品】 機能樹脂はPPSの自動車用途が堅調もPVDFの電池用バインダーが減少、炭素製品は電池用負極材は横ばいも熱処理炉用断熱材の需要が低迷し、あわせて減収・減益。
- 【化学製品】 農薬が数量増により増収となったものの利益は横ばい、工業薬品が有機薬品の原料価格上昇で減益となったが、医薬品の和解金収入と数量増により増収となり、あわせて増収・増益。
- 【樹脂製品】 業務用包装資材はフィルムの採算改善が進んだものの中国向けコンパウンドの数量が大幅減、家庭用品の数量回復と収益力向上を図り、あわせて増収・増益。
- 【建設】 震災復旧工事の減少に加え、人件費や資材費の上昇もあり、減収・減益。
- 【その他】 一部の環境関連ビジネスのセグメント変更があり増収となったが、廃棄物処理コストや経費の増加があり、減益。



KUREHA

業績比較

株式会社クレハ

(単位：億円)

	12年3月期実績			13年3月期実績							
	連結	単独	倍率	連結	単独	倍率	対前年増減				
							連結	増減	単独	増減	
売上高	1,284	731	1.8	1,306	738	1.8	22	2%	7	1%	
営業利益	85	61	1.4	85	73	1.2	-0	0%	12	20%	
経常利益	79	62	1.3	66	75	0.9	-13	-16%	13	21%	
当期純利益	15	10	1.4	32	41	0.8	18	120%	30	294%	
総資産	1,862	1,513	1.2	2,053	1,665	1.2	191	10%	152	10%	
純資産	886	848	1.0	962	892	1.1	77	9%	44	5%	
1株当たり 当期純利益	円 8.51	円 6.00	1.4	円 18.71	円 23.64	0.8	円 10.20	120%	円 17.64	294%	
1株当たり 純資産	円 510.37	円 493.67	1.0	円 546.69	円 518.93	1.1	円 36.32	7%	円 25.26	5%	
自己資本比率	% 47.0	% 56.0	0.8	% 45.7	% 53.5	0.9	% -1.3	-	% -2.5	-	

KUREHA

セグメント別実績 【機能製品】

株式会社クレハ

(単位:億円)

		12年3月期 実績	13年3月期実績			
			金額	増	減	
連結売上高	ク	炭素製品	69	44	-26	-37%
	レ	機能樹脂	147	137	-11	-7%
	ハ	その他	3	4	1	32%
		計	220	185	-35	-16%
		連結子会社	216	221	5	3%
		連結売上消去	-123	-129	-6	-
		合計	313	277	-36	-12%
連結営業利益		5	-21	-27	-	

〔炭素製品〕 炭素繊維は太陽電池用熱処理炉向け断熱材が落ち込み、炭素材料は電池用負極材の需要は伸びず、あわせて減益。

〔機能樹脂〕 PPSは電気・電子分野が低調も自動車分野と米国合併事業が堅調、PVDFは産業用素材用途は回復したものの電池用バインダーが減少、PGAはシェールガス掘削用途で成形品が採用となるも工場試運転費用や償却費が発生し(不稼働期間の固定費は営業外費用に計上)、あわせて減益。

KUREHA

セグメント別実績【化学製品】

株式会社クレハ

(単位:億円)

		12年3月期 実績	13年3月期実績			
			金額	増減		
連結売上高	ク レ ハ	工業薬品	90	94	4	4%
		農薬	76	83	7	9%
		医薬品	80	98	18	23%
		計	246	275	29	12%
		連結子会社	85	83	-2	-3%
		連結売上消去	-30	-29	0	-
	合計	302	328	27	9%	
連結営業利益		47	61	14	30%	

〔工業薬品〕 無機薬品の売上は回復するも有機薬品の原料価格高騰により、減益。

〔農薬〕 農業・園芸用殺菌剤「メコナゾール」の数量は増加するも上期円高下での出荷多く、利益横ばい。

〔医薬品〕 薬価改定はあったものの、慢性腎不全用剤「クレメジン」の特許係争の和解金収入や数量の伸びから、増益。

KUREHA

セグメント別実績【樹脂製品】

株式会社クレハ

(単位:億円)

		12年3月期 実績	13年3月期実績		
			金額	増減	
連結売上高	業務用包装資材	96	79	-17	-18%
	家庭用品	140	178	38	27%
	釣り系	11	—	-11	-100%
	その他	18	21	3	16%
	計	265	278	13	5%
	連結子会社	194	215	21	11%
	連結売上消去	-82	-84	-2	—
合計		377	409	32	9%
連結営業利益		22	30	8	34%

〔業務用包装資材〕包装フィルムでの採算改善は進んだものの、中国向けコンパウンドの数量が減少、欧州では原料高の影響も受け、あわせて減益。

〔家庭用品〕「NEWクレラップ」の数量が回復するとともに、収益性改善の取り組みを継続し、増益。

〔合成繊維〕子会社のクレハ合繊において、一般用釣り糸と産業用繊維の製販統合を図り、増益。

KUREHA

セグメント別実績【建設関連・その他】

株式会社クレハ

【建設関連】

(単位:億円)

		12年3月期 実績	13年3月期実績		
			金額	増減	
連結売上高	建設関連事業	292	247	-45	-15%
	連結売上消去	-129	-98	32	-
	合計	163	150	-13	-8%
連結営業利益		11	10	-1	-7%

【その他】

連結売上高	連結 子 会 社	環境事業	75	88	13	17%
		運輸・倉庫事業	106	103	-3	-3%
		商社事業	18	23	5	26%
		その他	22	21	-1	-4%
		計	222	236	14	6%
	連結売上消去	-92	-94	-2	-	
合計		130	142	12	10%	
連結営業利益		9	6	-3	-34%	

【建設関連】 震災復旧工事が減少したことに加え、人件費や資材費の上昇もあり、減収・減益。

【その他】 環境事業において建設セグメントから移管した事業があり増収となったものの、廃棄物処理コストや経費の増加があり、減益。

KUREHA

主要指標比較

株式会社クレハ

(単位：億円)

	12年3月期実績			13年3月期実績							
	連結	単独	倍率	連結	単独	倍率	対前年増減				
							連結		単独		
設備投資額	144	72	2.0	200	116	1.7	56	39%	45	62%	
減価償却実施額	96	80	1.2	89	62	1.4	-7	-7%	-18	-22%	
研究開発費	51	48	1.1	44	41	1.1	-7	-13%	-7	-15%	
有利子負債残高	567	406	1.4	684	493	1.4	118	21%	87	22%	
金融収支	-1	8	-	-2	8	-	-1	-	0	3%	
為替レート	79.09円/\$、109.17円/€			82.98円/\$、107.00円/€							
1株当たり配当金	10円(年間)			10円(年間)							
従業員数(人)	4,032	1,628	2.5	4,046	1,687	2.4	14	0%	59	4%	

KUREHA

経常利益差異分析

株式会社クレハ

(単位:億円)

		12年3月期実績		13年3月期実績		差異
経常利益	クレハ	62.1	79%	75.3	115%	13.3
	連結子会社	28.2	36%	-1.3	-2%	-29.5
	持分法会社	2.1	3%	2.8	4%	0.7
	連結調整	-13.8	-17%	-5.5	-8%	8.3
	計	78.7	100%	65.7	100%	-13.0

[差異要因]

	増益要因		減益要因		差引計
	項目	金額	項目	金額	
クレハ	医薬品和解金 売上単価増減 在庫増減他 一般管理費減 営業外収支	10 3 7 9 1	売上数量増減 原燃料・製品購入 費用増減 固定費増減 販売直接費増減	-3 -8 -5 -1	
		30		-17	13.3
連結子会社	国内樹脂製品	2	国内機能製品 海外機能製品 海外樹脂製品 その他	-9 -17 -2 -3	
		2		-31	-29.5

KUREHA

特別損益内訳

株式会社クレハ

(単位: 億円)

		12年3月期実績		13年3月期実績			
		実績		金額		増減	
		連結	単独	連結	単独	連結	単独
特別利益	補助金収入	—	—	3.1	—	3.1	—
	受取賠償金	—	—	1.5	—	1.5	—
	事業譲渡益	7.0	7.0	—	—	-7.0	-7.0
	投資有価証券売却益	0.8	0.8	0.0	0.0	-0.8	-0.8
	固定資産売却益	1.3	0.0	0.1	0.0	-1.2	0.0
	その他の	2.3	0.9	0.8	0.4	-1.5	-0.5
	計	11.5	8.7	5.5	0.5	-6.0	-8.3
特別損失	固定資産除売却損	15.3	12.0	8.1	9.5	-7.2	-2.5
	環境対策引当金繰入額	—	—	2.6	3.4	2.6	3.4
	固定資産圧縮損	—	—	1.5	—	1.5	—
	災害による損失	38.0	40.6	—	—	-38.0	-40.6
	その他の	5.0	2.1	4.3	3.5	-0.7	1.4
	計	58.2	54.7	16.5	16.4	-41.7	-38.3

KUREHA

貸借対照表

株式会社クレハ

1. 資産の部

(単位:億円)

	12年3月末実績		13年3月末実績		増 減		(参考) 12年9月末実績	
	連 結	単 独	連 結	単 独	連 結	単 独	連 結	単 独
現金・預金	89	34	100	49	11	15	99	30
売上債権	296	174	275	162	-21	-13	265	172
たな卸資産	222	160	253	190	32	30	237	167
その他流動資産	62	86	55	84	-8	-3	76	94
(小計)	668	454	682	485	14	30	677	464
有形固定資産	871	537	994	585	123	48	900	552
無形固定資産	8	4	15	7	6	2	12	5
投資等	314	517	362	588	47	71	294	525
(小計)	1,194	1,059	1,371	1,180	177	121	1,207	1,083
資産 合計	1,862	1,513	2,053	1,665	191	152	1,884	1,547

- ・機能製品の売上減により製品在庫が増加。
- ・高水準の設備投資で有形固定資産が増加。
- ・株価上昇に伴い時価評価額増加。

2. 負債・純資産の部

	12年3月末実績		13年3月末実績		増 減		(参考) 12年9月末実績	
	連 結	単 独	連 結	単 独	連 結	単 独	連 結	単 独
買入債務	193	85	159	68	-33	-17	154	65
有利子負債	567	406	685	493	118	87	618	444
引当金	39	21	37	22	-2	1	35	19
その他負債	179	153	210	190	32	37	175	160
(小計)	977	665	1,091	773	114	108	982	688
資本金	125	125	125	125	0	0	125	125
資本剰余金	92	102	100	102	9	0	92	102
利益剰余金	720	631	726	654	6	23	733	655
自己株式	-45	-45	-45	-45	0	0	-45	-45
包括利益累計額	-14	35	33	55	47	20	-24	22
新株予約権	1	1	1	1	-0	-0	1	1
少数株主持分	9	-	23	-	14	-	22	-
(小計)	886	848	962	892	77	44	903	859
負債・純資産 合計	1,862	1,513	2,053	1,665	191	152	1,884	1,547

- ・2018年満期ユーロ円建転換社債(ゼロクーポン)を発行、有利子負債は増加。

KUREHA

(単位:億円)

		12年3月末実績		13年3月末実績	
		連 結	単 独	連 結	単 独
	償却前利益	129	96	143	122
	資産及び負債の増減額	8	-19	-25	-32
	法人税等の支払額	-9	-2	-12	-3
	その他	-5	-2	-4	6
		121	73	102	93
投資キャッシュ・フロー		-142	-81	-196	-147
財務キャッシュ・フロー		4	-9	102	69
現金及び現金同等物に係る換算差額		-3	0	2	0
現金及び現金同等物の増減額		-19	-16	11	15
現金及び現金同等物の期首残高		107	50	89	34
現金及び現金同等物の期末残高		89	34	100	49

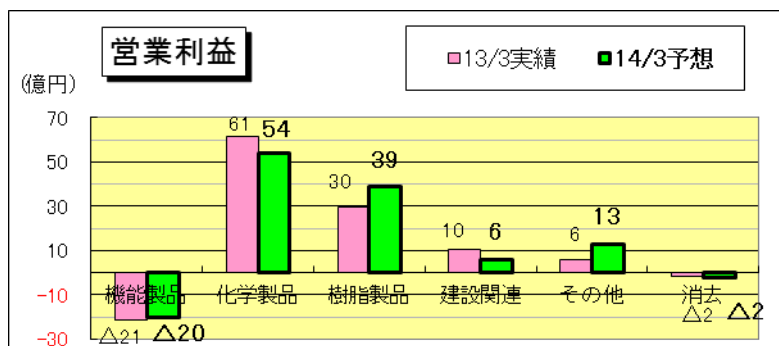
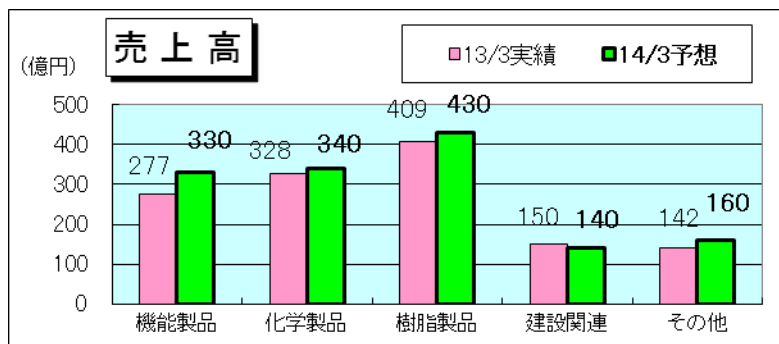
Ⅱ. 2014年3月期業績予想

2014年3月期業績予想 概要

株式会社クレハ

(単位：億円)

	13年3月期実績			14年3月期予想 (カッコ内は第2四半期予想)						
	連結	単独	倍率	連結	単独	倍率	対前年増減			
							連	結	単	独
売上高	1,306	738	1.8	(670) 1,400	(350) 780	1.8	95	7.2%	42	5.7%
営業利益	85	73	1.2	(23) 90	(20) 63	1.4	5	6.4%	-10	-13.6%
経常利益	66	75	0.9	(21) 85	(25) 68	1.3	19	29.4%	-7	-9.7%
当期純利益	32	41	0.8	(7) 45	(12) 38	1.2	13	40.1%	-3	-6.4%



【営業利益】増益

- 〔機能製品〕償却費負担の増加はあるも、電池材料、PGAの立ち上がりや下期に太陽電池関連の一部回復を見込むなど、横ばい。
- 〔化学製品〕医薬・農薬は数量増も、医薬和解金収入がなくなることや原料価格上昇等により、減益。
- 〔樹脂製品〕家庭用品の収益力向上と業務用包装資材の採算改善で、増益。
- 〔建設関連〕完工高減少と資材・人件費の上昇により、減益。
- 〔その他〕産業廃棄物処理事業の拡大で、増益。

(営業外損益) 今期より米国PGA子会社の固定費は製造原価に算入し、営業外費用での計上なくなり、営業外損益は改善。

【経常利益】営業利益の増加と営業外損益の改善により、増益

(特別損失) 固定資産除売却損等で連結20億円(単独△18億円)

【純利益】経常利益増、実効税率低下等により、増益

KUREHA

セグメント別予想 【機能製品】

株式会社クレハ

(単位:億円)

		13年3月期 実績	14年3月期予想			
			金額	増減		
連結売上高	ク	炭素製品	44	52	8	19%
	レ	機能樹脂	137	154	17	13%
	ハ	その他	4	4	0	0%
		計	185	210	25	14%
		連結子会社	221	270	49	22%
		連結売上消去	-129	-150	-21	-
	合計	277	330	53	19%	
連結営業利益			-21	-20	1	-

〔炭素製品〕 LiB搭載のHEV市場の拡大による負極材の需要増を見込む。太陽電池用熱処理炉向け断熱材の需要の回復は来期と見込む。

〔機能樹脂〕 PPSは自動車向け好調持続でいわきのフル稼働継続、米国合弁会社も堅調に推移。
PVDFは一般産業用途および車載用を中心にバインダー用途の拡大を見込む。
PGAはシェールオイル・ガス掘削用途の成形品分野で採用数を増やす。

以上により、前期比増収・利益横ばい

KUREHA

セグメント別予想【化学製品】

株式会社クレハ

(単位:億円)

		13年3月期 実績	14年3月期予想			
			金額	増減		
連結売上高	ク レ ハ	工業薬品	94	100	6	6%
		農薬	83	93	10	12%
		医薬品	98	92	-6	-6%
		計	275	285	10	4%
		連結子会社	83	86	4	4%
		連結売上消去	-29	-31	-2	-
		合計	328	340	12	4%
連結営業利益		61	54	-7	-12%	

〔工業薬品〕 原燃料価格上昇分の価格転嫁をすすめ収益を確保する。

〔農薬〕 農業・園芸用殺菌剤「メコナゾール」の数量は横ばいも、円安が好影響。

〔医薬品〕 前期の特許係争和解金分が減収となるも、慢性腎不全用剤「クレメジン」の数量増を図る。

以上により、前期比増収・減益

KUREHA

セグメント別予想 【樹脂製品】

株式会社クレハ

(単位: 億円)

			13年3月期 実績	14年3月期予想		
				金額	増減	
連結売上高	クレハ	業務用包装資材	79	82	3	4%
		家庭用品	178	180	2	1%
		その他	21	23	2	11%
		計	278	285	7	3%
	連結子会社		215	235	20	9%
	連結売上消去		-84	-90	-6	-
	合計		409	430	21	5%
連結営業利益			30	39	9	31%

〔業務用包装資材〕 フィルムの採算改善を進め、中国向けコンパウンドの数量回復を目指す。

〔家庭用品〕 「NEWクレラップ」は引き続き商品価値の訴求を継続し、価値を反映した市場価格の形成を図る。

〔合成繊維〕 釣り糸「シーガー」を含めた合成繊維事業は(株)クレハ合繊での製販統合の効果を高める。

以上により、前期比増収・増益

KUREHA

セグメント別予想【建設関連・その他】

株式会社クレハ

【建設関連】

(単位:億円)

		13年3月期 実績	14年3月期予想		
			金額	増減	
連結売上高	建設関連事業	247	210	-37	-15%
	連結売上消去	-98	-70	28	-
	合計	150	140	-10	-6%
連結営業利益		10	6	-4	-42%

【その他】

連結売上高	連結 子 会 社	環境事業	88	101	13	15%
		運輸・倉庫事業	103	106	3	3%
		商社事業	23	23	0	0%
		その他	21	20	-1	-5%
		計	236	250	14	6%
	連結売上消去	-94	-90	4	-	
合計		142	160	18	13%	
連結営業利益		6	13	7	112%	

【建設関連】

復旧・復興需要に対応するも完工高は減少、資材費・人件費の上昇を見込む。
以上により、前期比減収・減益

【その他】

〔環境事業〕

(株)クレハ環境において、低濃度PCB処理事業を着実に伸ばすなど、高収益分野の比率を高める。

以上により、前期比増収・増益

KUREHA

予想主要指標比較

株式会社クレハ

(単位：億円)

	13年3月期実績			14年3月期予想							
	連結	単独	倍率	連結	単独	倍率	対前年増減				
							連	結	単	独	
設備投資額	200	116	1.7	230	170	1.4	30	15%	54	46%	
減価償却実施額	89	62	1.4	95	63	1.5	6	7%	1	1%	
研究開発費	44	41	1.1	50	46	1.1	6	13%	5	13%	
有利子負債残高	684	493	1.4	859	648	1.3	175	26%	155	31%	
金融収支	-2	8	-	0	10	-	2	-	2	25%	
為替レート	82.98円/\$、107.00円/€			95円/\$、125円/€							
1株当たり配当金	10円(年間)			10円(年間予想)							
従業員数(人)	4,046	1,687	2.4	4,133	1,726	2.4	87	2%	39	2%	

KUREHA

予想キャッシュ・フロー

株式会社クレハ

(単位:億円)

		13年3月末実績		14年3月末予想	
		連 結	単 独	連 結	単 独
営業キャッシュ・フロー	償却前利益	143	122	160	113
	資産及び負債の増減額	-25	-32	-54	-32
	法人税等の支払額	-12	-3	-20	-17
	その他	-4	6	7	15
		102	93	92	79
投資キャッシュ・フロー		-196	-147	-282	-238
財務キャッシュ・フロー		102	69	157	138
現金及び現金同等物に係る換算差額		2	0	0	0
現金及び現金同等物の増減額		11	15	-32	-20
現金及び現金同等物の期首残高		89	34	100	49
現金及び現金同等物の期末残高		100	49	68	29

KUREHA

Ⅲ. トピックス (2012年4月～2013年4月)

トピックス (2012年4月～2013年4月)

株式会社クレハ

1. 全 般

- 2012年 8月 岩崎隆夫代表取締役社長が逝去。
9月 代表取締役社長に小林 豊代表取締役副社長が就任。
10月 中間配当を当初の予定通り5円とすることを発表。
2013年 2月 2018年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債を発行。
3月 当社株式等の大規模買付行為への対応策(買収防衛策)を、定時株主総会での承認を条件として更新することを決定。
4月 グローバル人財育成とコスト削減の実現を目的とする社長直轄の全社プロジェクト組織として、「改革推進プロジェクト」を新設。
4月 期末配当を当初の予定通り5円とすることを発表。

2. 機能製品

- 2012年 4月 負極材「カーボトロン」が「NoAE イノベーションコンテスト2011/2012」において素材・製造技術部門の最優秀賞を受賞。
6月 呉羽(常熟)氟材料有限公司が中国江蘇州常熟市にてフッ化ビニリデン樹脂製造工場の建設に着手。
7月 (株)クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパンに当社、伊藤忠商事(株)、(株)クラレ及び(株)産業革新機構が4社合わせて最大約200億円の資本投入を行うことについて合意。
8月 (株)クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパンとクラレケミカル(株)が共同で植物系ハードカーボンの製造会社である(株)バイオハードカーボンを設立。
2013年 3月 レジナス化成(株)が西日本の合成樹脂接着剤の生産拠点として、東広島工場(広島県東広島市)を新設し、生産を開始。

KUREHA

3. 化学品

- 2012年 4月 知的財産高等裁判所で係争していた慢性腎不全用剤「クレメジン」の後発品「メルクメジン」に関する特許権侵害訴訟等について、マイラン製薬(株)および扶桑薬品工業(株)と和解。
- 10月 田辺三菱製薬(株)と当社が共同で実施した慢性腎不全用剤「クレメジン」の海外における第3相臨床試験が終了したことを発表。

4. 樹脂製品

- 2012年 4月 レジャー用釣糸の販売業務をクレハ合繊(株)に移管。
- 10月 「NEWクレラップ」が7年連続、通算8度目となるグッドデザイン賞を受賞。
- 2013年 3月 「NEWクレラップ」10年連続のリニューアルを実施。
- 4月 クレハ合繊(株)の新繊維工場で釣糸や産業用繊維などの生産を開始。

5. 建設関連・その他

- 2012年 4月 (株)クレハエンジニアリングの環境関連部門を(株)クレハ環境に移管。

IV. 連結子会社の概要

連結子会社の概要 (1)

株式会社クレハ

(単位: 億円)

		12年3月期		13年3月期		増減	
		売上高	総資産	売上高	総資産	売上高	総資産
株式会社クレハ		731	1,513	738	1,665	7	152
株式会社クレハトレーディング・グループ2社		271	126	275	136	4	10
機能製品	株式会社クレハ	220	-	185	-	-35	-
	株式会社クレハトレーディング・グループ2社	88	-	91	-	3	-
	(株)クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン・グループ3社	23	38	41	48	18	9
	クレハ エクステック株式会社	19	24	16	25	-4	1
	日本エクストロン株式会社	14	16	13	15	-1	-1
	Kureha GmbH	15	10	17	9	2	-1
	Kureha America Inc.グループ4社	33	222	34	246	2	23
	上海呉羽化学有限公司	23	27	9	25	-15	-2
	呉羽(中国)投資有限公司・グループ2社	-	20	1	61	1	42
	連結調整	-123	-	-129	-	-6	-
計		313	-	277	-	-36	-
化学製品	株式会社クレハ	247	-	275	-	29	-
	株式会社クレハトレーディング	85	-	83	-	-2	-
	連結調整	-29	-	-29	-	-0	-
計		302	-	328	-	26	-
樹脂製品	株式会社クレハ	265	-	278	-	13	-
	株式会社クレハトレーディング	80	-	79	-	-1	-
	クレハ合繊株式会社	30	21	36	32	5	11
	欧州包材・グループ4社(12年3月期は5社)	61	42	73	46	12	4
	クレハベトナム	23	38	27	41	4	3
	連結調整	-82	-	-84	-	-2	-
計		377	-	409	-	32	-

KUREHA

連結子会社の概要 (2)

株式会社クレハ

(単位: 億円)

		12年3月期		13年3月期		増	減
		売上高	総資産	売上高	総資産	売上高	総資産
建設	クレハ錦建設株式会社・グループ4社	193	96	190	92	-2	-4
	株式会社クレハエンジニアリング	100	44	57	34	-43	-10
	連結調整	-129	-	-98	-	32	-
	計	163	-	150	-	-13	-
その他	株式会社クレハ環境	62	67	75	76	13	9
	株式会社クレハ分析センター	13	8	13	8	0	-0
	クレハ運輸株式会社・グループ7社	106	63	103	63	-3	0
	株式会社クレハトレーディング	18	-	23	-	5	-
	クレハサービス株式会社	5	8	5	8	0	0
	クレハスタッフサービス株式会社	17	7	16	6	-1	-1
	連結調整	-92	-	-94	-	-1	-
計	129	-	142	-	13	-	
(連結子会社数)		(38)		(37)		1	0
合 計(連 結)		1,284	1,862	1,306	2,053	22	191
持分法 適用会社	南通匯羽豊新材料有限公司 (株)バイオハードカーボン	28 -		30 -		2	0

※ 2013年3月期連結子会社 37社(前期比1社減)、持分法適用関連会社 2社(前期比1社増)

→内訳: (株)バイオハードカーボンを(株)クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパンの持分法適用関連会社として設立、クレハロン・ベネルックスN.V.はクレハロン・フランス&ベネルックスS.A.S.へ事業譲渡し解散。

KUREHA

- ・ 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・ 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- ・ 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。